vol.312
1
シネラ・ニュース
January 2024

fiaf
国際フィルム・アーカイヴ連盟＝FIAFは
映画の保存を目的とする国際団体です。
福岡市総合図書館はFIAFの会員です。

Fukuoka City Public Library Movie Hall
Ciné-là
福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ

山猪温泉

通常上映

人と自然

人と自然をテーマに総合図書館収蔵の映画の特集。

楢山節考

裸の島

秘境モォトゥオへ･･･

ムロアミ

聖者の谷

太陽のジャングル

特別企画 原一男監督 来場

水俣曼荼羅
上映&講演会

©疾走プロダクション

通常上映 人と自然をテーマに
総合図書館収蔵の映画の特集。

人と自然

人は、いかに自然によって育まれ、生かされてきたのか。環境問題や自然災害が深刻化し、SDGsが掲げられる今、人の営みと自然をアジアの視点から見つめ直す。

会　期：1月5日（金）～ 27日（土）※休館日・休映日除く
観覧料：500円（大人）　400円（大学生・高校生）
300円（中学生・小学生）

※定員制。各回入替制。
※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。（チケットの販売は上映の1時間前からです。）
※障がい者の方、その介護者（1人）は無料。福岡市在住の65歳以上の方は250円。（手帳や保険証などの原本の提示が必要です。）
※「わたすクラブ」会員の方は250円。（会員証の原本の提示が必要です。）

5 金 14:00 21 日 11:00 裸の島

瀬戸内海に浮かぶ小島に、千太とトヨの夫婦が子どもと共に暮らしていた。家族は島で畑を作っていたが、問題は島に水がないことだった。夫婦は他の島から船で水を運んでおり、仕事の大半は、水の入った桶を天秤棒で担ぎ、畑まで運ぶことだった。電灯もラジオもない小さな島の夫婦の暮らしを、新藤監督はほとんどセリフのない、一種の映像詩として製作した。本作はモスクワ映画祭グランプリなど世界各国で絶賛され、世界で最も有名な日本映画の一本となった。

監督：新藤兼人
出演：殿山泰司
乙羽信子

1960年／35ミリ／モノクロ／97分／日本／近代映画協会

6 土 11:00 17 水 14:00 黄金のシーター Golden Sita

インド長編叙事詩「ラーマーヤナ」の後日譚を描いた映画。魔王にさらわれた妻のシーターを、王のラーマは救い出す。しかし民衆はシーターの純潔を疑い、やむなくラーマは国の安泰のためにシーターを追放する。そしてシーターは双子を産んでガンジス河に身を投げるが、その後双子は成長し、偶然ラーマ王と対面する。インドでは良く知られた物語であり、森や川、風、炎といった自然に霊的なものを感じさせるアラヴィンダン監督作品である。

日本語字幕付き
監督：G・アラヴィンダン
出演：ラームダース
ヴェンカテーシュワルル

1977年／35ミリ／カラー／87分／インド

6 土 14:00 18 木 14:00 楢山節考

山間にあるその村では、年寄は70歳を超えると楢山に連れて行かれ、置き去りにされるという習わしがあった。おりんは70歳だが、まだまだ元気だった。しかし息子の辰平の結婚も決まり、おりんは辰平に背負われて楢山に向かうのだった。厳しい大自然の中で生きる人々を力強く描いた作品で、83年カンヌ映画祭グランプリを獲得した名作。

監督：今村昌平
出演：緒形拳
坂本スミ子

1983年／35ミリ／カラー／130分／日本／東映＝今村プロ

7 日 11:00 18 木 11:00 黄色い大地 Yellow Earth

チェン・カイコーの監督デビュー作で、ロカルノ国際映画祭で銀豹賞を受賞して中国映画再評価の契機となった映画。陝西省の貧村に住む少女ツイチャオは、延安から派遣された兵士・グウチンと出会う。望まぬ結婚を迫る因習から逃れるため、延安に帰った彼への想いを胸に、ツイチャオは旅立つ。黄土色の山々と空の乾きを撮影したのは、後に『赤いコーリャン』(1987)で監督デビューを果たすチャン・イーモウ。

日本語字幕付き
監督：チェン・カイコー
出演：シュエ・パイ
ワン・シュエチー

1984年／35ミリ／カラー／90分／中国

7 日 14:00 19 金 11:00 盗馬賊 Horse Thief

1923年のチベット。遊牧民のルオブは馬泥棒や強盗をしていた。やがて村を追放されたルオブは妻と幼い息子を連れて旅に出るが、厳しい放浪生活の中、子どもが病死してしまう。「青い凧」で知られる巨匠ティエン・チュアンチュアンの4本目の監督作品。チベット独自の伝統や信仰、風習が記録されたドキュメンタリータッチの作品で、国際的にも高く評価された。

日本語字幕付き
監督：ティエン・チュアンチュアン
出演：ツアイ・シャンレンズン
タン・チーチ

1986年／35ミリ／カラー／87分／中国

8 月・祝 14:00 19 金 14:00 1000年刻みの日時計 牧野村物語

70年代、80年代を代表するドキュメンタリストの一人である小川紳介の最後の長編ドキュメンタリー。三里塚闘争のシリーズを経て、山形県の牧野村に移住した小川紳介は、そこで農作業をしながら映画を撮り続けた。農業の科学、村の歴史、農民との交流を、共にそこに暮らし、働く者の視点から、科学映画や劇映画などの手法も駆使して描いた、ドキュメンタリー映画の枠を超えた名作。

※途中5分休憩あり

監督：小川紳介

1987年／16ミリ／カラー／223分／日本／小川プロ

8 月・祝 11:00 24 水 14:00 絵の中のぼくの村

絵本作家・田島征三と兄・田島征彦が少年時代を過ごした高知県の田舎を舞台とした作品。昭和23年。絵が好きな征彦と征三の双子の兄弟は、勉強そっちのけで自然の中で遊びまわっていた。田島征三の同名のエッセイが原作。作者が「生涯で一番大切で、楽しい思い出が詰まっている。」と語る少年時代の回想がスケッチ風のドラマとして描かれる。ベルリン映画祭銀熊賞、キネマ旬報主演女優賞（原田美枝子）など高く評価された傑作。

監督：東陽一
出演：松山慶吾
松山翔吾

1995年／35ミリ／カラー／112分／日本／シグロ

11 木 14:00 21 日 14:00 ムロアミ Reef Hunters

フレッドは少年達を雇うと、船でムロアミ漁に出港する。少年達は海に潜ると海底を石で叩き、魚を網に追い込んでいく。魚を沢山捕ることに血眼のフレッドは、部下の進言にも耳を貸さない。フィリピンで実際に行われていたムロアミ漁を描いた作品。環境破壊、児童労働などを告発した作品だが、見事な水中撮影シーンが素晴らしい。フィリピンで大ヒットした作品。

日本語・英語字幕付き
監督：マリルー・ディアス＝アバヤ
出演：セサール・モンタノ
ペン・メディナ

1999年／35ミリ／カラー／119分／フィリピン

12 金 14:00 25 木 14:00 島 The Island

日本語・英語字幕付き
監督：ギリーシャ・カーサラヴァッリ
出演：サウンダルヤ
アヴィナーシュ

ダムにせきとめられた貯水湖にある島に、ナーギは夫とその父親の三人で暮らしていた。ある日役人が来て、ダムの水位が上がり島が水没すると告げる。しかし、島にある寺院で神事をとり行う父親は、避難を求める警察の説得を聞き入れず、島に留まり寺院を守ると頑なに主張する。南インドの人気女優サウンダルヤが製作・主演をこなした作品。ダム建設で失われる文化が美しい映像の中に描かれる。

2002年／35ミリ／カラー／137分／インド

12 金 11:00 27 土 14:00 メコン・フルムーン・パーティ Mekhong Full Moon Party

日本語・英語字幕付き
監督：チラ・マリクン
出演：アヌチット・サバーンポン
ノッパドン・ドゥアンポーン

タイ東北部、ラオスとの国境を流れるメコン河から、秋の満月の夜、無数の火の玉が空に上がっていく。この不思議な現象を見るため観光客は訪れ、その原因を巡って議論が交わされる。この映画の不思議な現象はタイで実際に起きており、それを巡るドタバタ騒動がコメディタッチで描かれている。タイでも大ヒットした娯楽作品。

2002年／35ミリ／カラー／119分／タイ

13 土 11:00 26 金 14:00 秘境モォトゥオへ・・・ Stirring Trip to Mutuo

日本語・英語字幕付き
監督：ハスチョロー
出演：スン・ミン
ポオ・ホン

上海出身の老人がチベット山奥のモォトゥオに小学校を建て子どもに勉強を教えている。新聞記者ワンは、健康問題を抱えた老人の診察のためモォトゥオへ向かう女医に同行し、老人の取材をしようとする。しかしモォトゥオへの山岳道は想像を絶する険しさだった。実話を元にした物語で、道案内の少年を始め多くの地元の人たちが出演している。

2003年／35ミリ／カラー／99分／中国

13 土 14:00 27 土 11:00 太陽のジャングル Fire Fighters

日本語・英語字幕付き
監督：ソーマラトゥネ・ディサーナーヤカ
出演：ジャクソン・アントニー
ジャヤラトゥ・マノーラトゥネ

19世紀初めのスリランカ。猟師のセーディリスが密猟を行う山に、ある日僧侶の親子が住みつく。二人を追い出そうとするセーディリスだが、逆に銃をとりあげられ殺生をしてはいけないと諭される。イギリス植民地時代のスリランカが舞台。仏教国スリランカの思想がよく表れた作品で、スリランカで大ヒットを記録した。

2004年／35ミリ／カラー／117分／スリランカ

14 日 11:00 26 金 11:00 聖者の谷 Valley of Saints

日本語・英語字幕付き
監督：ムーサー・サイード
出演：グルザール・バット
ニーローファー・ハミッド

青年グルザールは、インド、カシミール地方のダル湖で船頭として働いている。船を巧みに扱い、観光客を乗せて生計を立てているが、将来の見えない地元での生活に限界を感じ、大都会に出ようと試みる。しかし、想定外の事態が起き、やむなくダル湖に留まることに。そしてアメリカから来た若い女性の環境学者アーシファに出会う。ダル湖の汚染調査のため、かつては美しかった湖をアーシファとめぐるうちに、グルザールは故郷の環境問題について意識するようになる。

2012年／デジタル／カラー／82分／インド＝アメリカ

14 日 14:00 25 木 11:00 山猪温泉 The Boar King

日本語・英語字幕付き
監督：クオ・チェンティ
出演：ルー・イーチン
ツァイ・チェンナン

台湾南部、山岳地帯にある山猪温泉。ホテルの経営者であるロンは台風の日に行方不明となる。災害により温泉も止まってしまう。ロンの妻メイチュエは娘のフェンと共に、温泉を再開しようとする。監督は2009年に台湾を襲った台風の被害を知ったことで本作を構想。ミステリアスなエピソードを織り込みながら、心温まる作品となっている。

2014年／デジタル／カラー／102分／台湾

特別企画 水俣曼荼羅 上映&講演会

第3部上映後、18:30から原一男監督による講演会

会　期：1月20日（土）

観覧料：＜第1部＞ 11:00～

600円（大人）　500円（大学生・高校生）
400円（中学生・小学生）

※定員制。＜第1部＞ 上映後入替。
※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。（チケットの販売は上映の1時間前からです。）
※障がい者の方、その介護者（1人）及び福岡市在住の65歳以上の方は300円。（手帳や保険証などの原本の提示が必要です。）
※「わたすクラブ」会員の方は300円。（会員証の原本の提示が必要です。）

＜第2部・3部、講演会＞14:00～19:30 終了予定

800円（大人）　600円（大学生・高校生）
500円（中学生・小学生）

※障がい者の方、その介護者（1人）及び福岡市在住の65歳以上の方は400円。（手帳や保険証などの原本の提示が必要です。）
※「わたすクラブ」会員の方は400円。（会員証の原本の提示が必要です。）
※講演会は有料で、映画＜第2部・3部＞上映とセット料金です。

「水俣を忘れてはいけない」—『ゆきゆきて、神軍』の原一男監督が最新作で挑んだのは“水俣”だった。日本四大公害病の一つとして知られる水俣病。その補償をめぐっていまだ裁判の続く中、ついに国の患者認定の医学的根拠が覆られたものの、根本的解決には程遠い。原監督はその現実に20年間、まなざしを注いできた。これは、さながら密教の曼荼羅のように、水俣で生きる人々の人生と物語を顕した壮大な叙事詩である。

©疾走プロダクション

『第1部　病像論を糾す』（114分）

川上裁判によって初めて、国が患者認定制度の基準としてきた「末梢神経説」が否定され、「脳の中枢神経説」が新たに採用された。しかし、それを実証した熊大医学部浴野教授は孤立無援の立場に追いやられ、国も県も判決を無視、依然として患者切り捨ての方針は変わらなかった。

『第2部 時の堆積』（138分）

小児性水俣病患者・生駒さん夫婦の差別を乗り越えて歩んできた道程、胎児性水俣病患者さんとその家族の長年にわたる葛藤、90歳になってもなお権力との新たな裁判闘争に賭ける川上さんの、最後の闘いの顛末。

『第3部 悶え神』（118分）

胎児性水俣病患者・坂本しのぶさんの人恋しさと叶わぬ切なさを伝えるセンチメンタル・ジャーニー、患者運動の最前線に立ちながらも生活者としての保身に揺れる生駒さん、長年の闘いの末に最高裁勝利を勝ち取った溝口さんの信じる庶民の力、そして水俣にとって許すとは？翻る旗に刻まれた怨の行方は？水俣の魂の再生を希求する石牟礼道子さんの“悶え神”とは？

監督：原一男　　2020年／デジタル／カラー／372分／疾走プロダクション

1月 上映スケジュール

12/28(木)▶1/4(木) 年末年始の休館日

人と自然

5(金)		14:00 裸の島
6(土)	11:00 黄金のシーター	14:00 楢山節考
7(日)	11:00 黄色い大地	14:00 盗馬賊
8(月祝)	11:00 絵の中のぼくの村	14:00 1000年刻みの日時計 牧野村物語
9(火)	休館日	
10(水)	休映日	
11(木)		14:00 ムロアミ
12(金)	11:00 メコン・フルムーン・パーティ	14:00 島
13(土)	11:00 秘境モォトゥオヘ・・・	14:00 太陽のジャングル
14(日)	11:00 聖者の谷	14:00 山猪温泉
15(月)	休館日	
16(火)	休映日	
17(水)		14:00 黄金のシーター
18(木)	11:00 黄色い大地	14:00 楢山節考
19(金)	11:00 盗馬賊	14:00 1000年刻みの日時計 牧野村物語
20(土)	11:00 水俣曼荼羅「第1部」	14:00 「第2部・第3部」 ※上映後、原一男監督の講演会
21(日)	11:00 裸の島	14:00 ムロアミ
22(月)	休館日	
23(火)	休映日	
24(水)		14:00 絵の中のぼくの村
25(木)	11:00 山猪温泉	14:00 島
26(金)	11:00 聖者の谷	14:00 秘境モォトゥオヘ・・・
27(土)	11:00 太陽のジャングル	14:00 メコン・フルムーン・パーティ
28(日)	自主上映／福岡映画サークル協議会例会	
29(月)	休館日	
30(火)	休映日	
31(水)	休館日	

自主上映のお知らせ

■福岡映画サークル協議会例会

上映作品：**「丘の上の本屋さん」**
(2021年／84分／イタリア／監督:クラウディオ・ロッシ・マッシミ)

日時：1月28日(日) ①11:00 ②14:00

料金：一　般 1,400円(前売り1,200円)
シニア 1,100円／障がいのある方 1,000円／中高生 800円

主催：福岡映画サークル協議会 TEL:092-781-2817

※詳細については直接主催者にお問い合わせください。

COLUMN

『裸の島』(1960年 新藤兼人監督)

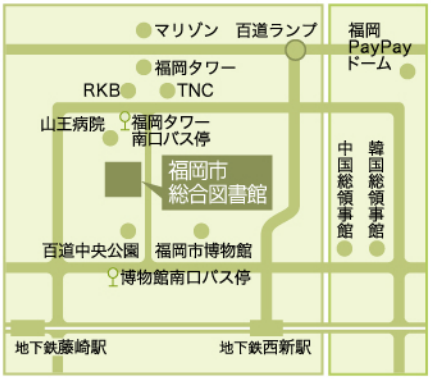
長引く夏の猛暑や異常気象など、私たちを取り巻く自然環境は年々厳しいものとなっている。アジア防災センターによると、世界における自然災害の発生件数は、1960年代には年間平均で56件だったが、最近10年間(2012～22年)の平均は年間363件に達している。昨年は、パキスタンやバングラデシュにおける大洪水、フィリピンの台風、インドネシアで発生した地震など、特に東南アジア地域が世界的に最も深刻な自然災害に見舞われた。

今回上映の14作品は1960年以降に製作されたアジア映画で、各国の視点から「人と自然」を描き出している。人々は自然の中で育まれ共生し、そして時に厳しい環境において苦境に立つが、作品に共通しているのは自然への敬意、畏怖の念である。『島』(2002 インド)に登場する高齢の父親は、神々が宿る寺院が湖に沈んでいく中、避難を拒み、寺院と運命を共にしようとする。『裸の島』(1960 日本)では、瀬戸内海の水のない孤島に暮らす夫婦が、重い天秤棒で毎日ひたすら水を運び、畑仕事を続ける。そこでは、自然を克服し問題解決するというよりも、大いなる自然に自らを委ねつつ、人はその中で生きる存在だと考えるアジア独自の自然観が浮かび上がる。

持続可能な開発目標(SDGs)が掲げられ、環境問題や自然災害への取り組みが求められる現代社会において、人の営みと自然というテーマを今一度アジア映画から見出すことができるのではないだろうか。

参考:アジア防災センター 自然災害データブック 2022年度版

Fukuoka City Public Library Movie Hall Ciné-là
福岡市総合図書館映像ホール・シネラ
〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号
福岡市総合図書館(代表)Tel.092(852)0600 Fax.092(852)0609
福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ ホームページ
うえぶシネラ http://www.cinela.com



交通アクセス

当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

市営地下鉄

西新駅または藤崎駅下車徒歩15分

西鉄バス

●博多駅、天神、西新から福岡タワー南口下車徒歩5分または博物館南口下車徒歩5分

●藤崎から福岡タワー南口下車徒歩5分

◎所要時間は交通事情により異なります。バス運行時間、目的地までの所要時間の目安、またお近くのバス停からのご利用については、西鉄お客様センター(電話0570-00-1010)に直接お問い合わせください。

助成：公益財団法人 福岡文化財団
発行：映像ホール・シネラ実行委員会
R100 古紙配合率100%再生紙を使用しています。